仙台・文化財サポーター会活動記録（まちづくり研究部会）

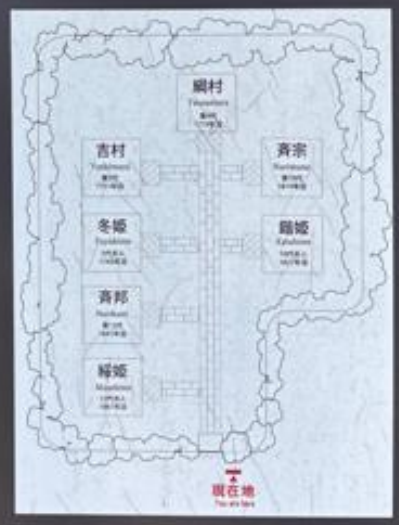
第３回活動記録（まちづくり研究部会）
◯7 月 24 日（金）例会
～大念寺山歩き～
・10 時～11 時 30 分
・参加者　16 名

猛暑のため、開始時間を午前に変更したものの午前も予想以上の暑さ。10 時に野草園バス停前集合。竹林・アジサイの道を通り、『宝華林廟』（非公開）の外観を見ながら『無尽灯廟』へ。

①『無尽灯廟』
仙台藩４代藩主伊達綱村公をはじめ、５代、10 代、12 代と各夫人が葬られている伊達家の墓所（通常は土日祝日のみ公開）。綱村公が、歴代の経ケ峯のような豪華な墓所だと後世子孫が大変になるだろう、自分の墓は瓦葺の屋根を覆うだけでよいという遺訓を残したので、今は墓石だけの墓所となっています。

無尽灯廟（伊達家墓所）
Mujintobyo (Date Family Graves)

大年寺山公園
Dainenjiyama Park



仙台藩4代藩主伊達綱村は元禄10年（1697）、後に黄檗宗日本三禅林の一つと称される大年寺を建立し、伊達家の菩提寺としました。綱村の没後、遺言により大年寺山に墓所が設けられ、5代吉村、10代斉宗、12代斉邦と、その夫人たちが葬られ、無尽灯廟と名付けられました。壮麗な経ヶ峯の墓所とは対照的に、もともとは瓦葺の覆屋が建てられていました。

The fourth feudal lord of Sendai, Date Tsunamura opened Dainenji Temple in 1697 and made it for the Date family. Dainenji was known as one of the three big temples of the Obaku school of Zen Buddhism in Japan. Following Tsunamura's death, his grave was built at Dainenji Temple as he had wished in his will. In addition, Yoshimura, Narimune and Narikuni, the 5th, 10th and 12th feudal lords of Sendai respectively, were buried here with their wives and the site was named Mujintobyo. In contrast to the magnificent Kyogamine grave site, his grave once had a simple tiled roof.

伊達綱村 Date Tsunamura

伊達綱村は万治2年（1659）に3代藩主伊達綱宗の長男として生れ（初代藩主伊達政宗の曾孫にあたる）、伊達騒動の渦中、2歳で4代藩主となりました。成人後は藩主権力を強化し、儒教を奨励するとともに伊達家の修史事業を開始、大年寺を始めとする寺社の造営を積極的に行いました。

Tsunamura (a great-grandchild of the first feudal lord of Sendai-Han, Date Masamune) was born in 1659 and became the head of the Date Clan at the age of two amidst the Date family disputes. After becoming an adult, he strengthened the power and influence of the Date Clan. In addition to promoting Confucianism, he began a project to compile the history of the Date family and actively proceeded with the construction of Dainenji Temple and other temples and shrines.

伊達家墓所 Date Family Graves

大年寺山には「無尽灯廟」のほかに6代藩主宗村、7代藩主重村らを祀った「宝華林廟」、維新後に神式で葬られた13代藩主慶邦以降の歴代伊達家当主の墓所があります。大年寺山の北西の経ヶ峯には、初代藩主伊達政宗の墓所「瑞鳳殿」、2代忠宗、3代綱宗の「感仙殿」「善応殿」、9代周宗、11代斉義を祀る「妙雲界廟」、5代吉村以降に夭逝した公子公女の「御子様御廟」があります。また、初代から4代までの藩主夫人は、それぞれの菩提寺に葬られています。

At Dainenjiyama Hill, in addition to Mujintobyo, there is also Hokarin-byo, which enshrines the 6th and 7th feudal lords, and the graves of all of the heads of the Date family since the end of the Meiji Restoration (the 13th feudal lord onwards), who were buried in Shinto style. Kyogamine, located to the northwest of Dainenjiyama Hill, is home to Zuihoden, Kanzendenand Zenzoden, the mausoleums of the 1st lord of the Sendai Clan, Date Masamune, 2nd feudal lord Tadamune, and 3rd feudal lord Tsunamura, respectively.

公開日時 Open Days

3月20日～11月30日の土曜・日曜・祝日のみ
午前9時30分から午後3時30分まで

20th March - 30th November (Saturdays, Sundays and national holidays)
9:30 am - 3:30 pm

⚠ ご注意ください Caution

石灯籠や墓石には手を触れないでください。
地震の揺れを感じた際は、速やかに灯篭から離れ、墓所の外に避難してください。

Please do not touch the tombstones or the stone-lanterns.
If an earthquake occurs, please move away from the lanterns quickly, and evacuate outside.

お問い合わせ先 Information

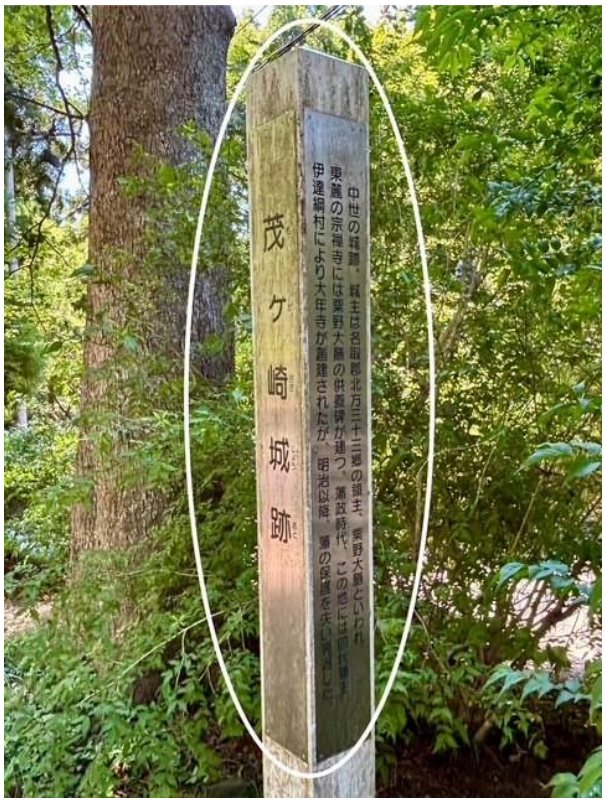
仙台市建設局 公園管理課
Tel.022-261-1111

Sendai City Office Construction Bureau
Park Management Section
Tel.022-261-1111

大年寺会の方々がこの墓所の清掃・維持活動を通して、先人の功績に触れ、郷土に残る文化について理解を深める活動をされています。

②茂ヶ崎城跡碑

　標柱文には「中世の城跡。戦主は名取郡北方三十三郷の領主、粟野大膳といわれ東麓の宗禅寺には粟野大膳の供養碑が建つ。藩政時代、この地には四代藩主伊達綱村により大梅寺が創建されたが、明治以降、藩の保護を失い衰退しました」と書いてあります。
野草園前の駐車場あたりの広場もその跡地のようです。



③『仙庵』・『茂ヶ崎庵』

『千庵』は現代数寄屋建築の粋を結集した本格的茶室で東北における文化的名席です。
『茂ヶ崎庵』は仙台に寄贈された明治末期の建物で杉および欅の最良の材料が使用された伝統的な和風建築、随所にこだわりが垣間見られました。
今でも茶室として利用され、見学等は予約制。

④姥杉

樹高 28.0m、幹周 8.0m、樹齢 500 年を優に超える市指定保存樹木。
この地にこのような見事な巨木があるとは知りませんでした。

◯今回の「大念寺山まち歩き」は７月 11 日と 24 日の２回に分けて実施。
　１回目の参加者は 11 名。

◯途中、市内南部を一望できる東屋で休憩

◯今回は行きませんでしたが、大年寺の往時の建造物として、惣門と 274 段の石段があり、こちら側から見学して往時を偲ぶのもおすすめです。

◯仙台藩主 3 代の霊廟は瑞鳳殿がある経ケ峯にあることはよく知られていますが、4 代目以降の墓所については市民にほとんど知られていないのが現実です。

こうした歴史的文化遺産を維持管理していくことの大切さと大変さがわかった今回の巡見でした。

以上